

世界を「聴く」： 作曲と通訳の仕事をめぐる

講演者：**樫山 智子**氏

日時：2021年11月26日（金）
3限目（13:00～14:30）

会場：関西大学千里山キャンパス
第一学舎2号棟 B301教室
※ 対面での開催です。

対象：外国語学部（学部生、院生、教職員）

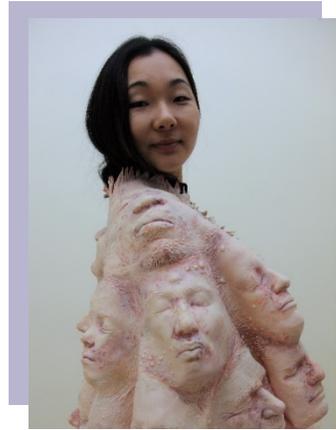


Photo by Oliver Goulet



概要 私は、作曲家・アーティストとして世界各地の人々や風土と関わりながら創作活動を行う傍ら、アート専門の通訳者として思考をつなげ、文化を育てる仕事に携わっています。どちらも、異なる声に耳を傾け、異なる文化間の対話を媒介し、異なる視点を伝える翻訳の作業です。この講演会では、私のこれまでの仕事を紹介しながら、世界をクリティカルに聴くための創造的な試みについて、みなさんとお話したいと思います。

略歴 作曲家、アーティスト、通訳者。スタンフォード大学を音楽と人間生物学の二重専攻で卒業した後、文化庁新進芸術家派遣制度のもとオランダ王立ハーグ音楽院作曲科に留学。国内外の芸術祭や文化機関から委嘱を受け、人と環境の関係性を問うサイト・スペシフィックなプロジェクトを展開する。様々な背景を持つ人々を巻き込む共同作曲作品や、農村や街を舞台に繰り広げられる移動式コンサート、山や海、風、木々と交感する儀礼パフォーマンス、観客参加型のサウンド・インスタレーションなど、領域を自由に横断する作品を発表。周縁化された人々や異分野の専門家等と協働しながら、複数の物語を紡ぎ合わせることで、非・人間中心主義的なパラダイムから世界を想像するための新たな共同体の音楽を探求している。マイノリマジョリテ・トラベル主宰、日本相撲間作曲家協議会理事、アート・トランスレーターズ・コレクティブ共同ディレクター。www.tomokomomiyama.com。